

公益財団法人 北九州国際交流協会

公益財団法人 北九州国際交流協会

I 法人の概要 (平成 26 年 4 月 1 日現在)

1 所在地

北九州市八幡西区黒崎三丁目 15 番 3 号 コムシティ 3 階

2 設立年月日

平成 2 年 7 月 25 日

3 代表者

理事長 高城 壽雄

4 基本財産

300,000 千円

5 北九州市の出捐金

300,000 千円(出捐の割合 100.0%)

6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	7 人	0 人	1 人	6 人
常 勤	1 人	0 人	1 人	0 人
非常勤	6 人	0 人	0 人	6 人
職 員	11 人	2 人	1 人	8 人

7 市からのミッション

- ① 外国人市民が地域住民として日本人市民と対等に活躍できる社会を実現するため、外国人市民の社会生活適応と自立を支援する。
- ② 行政と市民団体、企業、大学などとの協働をコーディネーターとして促進することにより、外国人市民と日本人市民が共生できる活力ある社会をめざした地域づくりを行う。
- ③ 世界に開かれたまちづくりを進めるため、グローバル人材の発掘と育成を行う。国際的な視野と行動力を持つ若者を育てるとともに留学生等外国人高度人材への情報提供を密に行い、地域定着希望者への支援を行う。

II 平成 25 年度事業実績

本協会が定める、「異なるものを理解、尊重し、ともに生きる人・社会づくりを目指して」の基本方針のもと、1 外国人市民の支援、2 市民による国際交流の推進・支援の 2 つの分野における事業を実施した。

1 外国人市民の支援

(1) 多言語による生活情報の提供

日本語を十分に理解できない外国人市民に対して、地域生活において必要となる情報を多言語で様々な媒体や機会を利用して提供した。

① 留学生への情報提供

新しく北九州市に転入してきた留学生に対して、大学のオリエンテーション等で生活に必要な情報や協会の外国人支援情報等を提供した。

② 外国人市民のための情報提供

WEB版外国人市民向け多言語情報誌「ひまわり」を英語、中国語、韓国語版の3言語で春と夏に2回発行した。秋以降は、外国語メルマガ情報「たのしメール」を編集・印刷し、北九州市で暮らしていくにあたっての役立つ情報や協会事業の情報を提供した。

③ こくらインフォメーションでの情報提供 来館者数：1,071人（9月末まで）

小倉駅北口に位置するAIMビル2階で、国際交流や多文化共生に関する資料の閲覧・情報提供などを実施していた「こくらインフォメーション」を9月末で閉鎖し、小倉北区役所内で開設していた「外国人インフォメーションセンター小倉北区出張所」に業務を移管した。

④ ホームページ、メールマガジンによる情報発信

多言語（日本語・英語・中国語・韓国語・やさしい日本語）のホームページを活用して、最新のイベント情報や生活情報、協会事業や県内の国際交流など外国人市民への情報提供を行った。また、タイムリーな情報発信として、日本語、英語、中国語、韓国語、やさしい日本語のメールマガジンを発行した。

アクセス数：34,470件 メールマガジン登録者数：344人

(2) コミュニケーション支援

コミュニケーションに困難を感じている外国人市民に対して、地域社会において孤立することなく、日本人と共生できるように支援を行った。また、日常生活の上で発生した悩みや課題を専門家と協力しながら、解決に向けての支援を行った。

① 外国人インフォメーションセンター（旧：外国人相談窓口）

ア 専門家相談

- * 入国・在留・国籍手続き相談：福岡県行政書士会と共催で月に1回開催 相談件数：32件
- * 法律相談：福岡県弁護士会北九州部会の協力のもと月に1回開催 相談件数：13件
- * なやみごと相談：臨床心理士による相談会を計画 相談件数：0件

イ 一般相談 相談人数：547人 相談件数：707件

名称を「外国人インフォメーションセンター」と改め、八幡西区及び小倉北区の2か所において、外国語相談員が日本語・英語・中国語・韓国語での相談業務や情報提供を実施した。相談内容によって前記の専門家相談へつなぐことで課題解決への一助となった。

ウ 北九州外国人支援関係機関連絡会議の開催

外国人支援に関わる関係者の情報交換会を開催し、各立場での状況や内容について意見交換を行うことで関係機関の緊密な関係を築き、外国人の抱える課題や傾向について情報共有を行った。今年度、初めての開催。

開催日：3月27日（木） 場所：北九州国際交流協会 ミーティングルーム

参加者：福岡県弁護士会、福岡県行政書士会、教育委員会、保健師、外国語相談員など

② 行政通訳派遣事業

ア 外国人インフォメーションセンター小倉北区役所出張所

北九州市の委託を受けて、上記での外国人通訳サービス事業に行政通訳者を派遣し、外国人が区役所での手続きを円滑にできるよう通訳サービスを実施した。

派遣日数：51日 派遣人数：英語51人、中国語50人、韓国語29人

イ 行政通訳個別派遣

北九州市の委託を受けて、日本語によるコミュニケーションが困難な外国人市民のために、区役所や学校などに行政通訳者を無料で個別派遣した。

派遣件数：40件 派遣者数：52人 言語：英語5人、中国語24人、韓国語5人、タガログ語4人、インドネシア語3人、ベトナム語9人、タイ語2人

③ 医療通訳派遣事業

日本語でのコミュニケーションが難しい外国人市民が安心して医療機関を受診できるように、医療通訳者を医療機関などへ派遣した。

派遣件数：11件 派遣人数：11人 言語：英語2人、中国語8人、タガログ語1人

④ 災害時通訳サポーターのフォローアップ

日本語によるコミュニケーションが難しい外国人に対し災害時に文化や習慣の違いを踏まえ、通訳あるいは翻訳等の言葉の支援を行う通訳者を対象にフォローアップ研修を行った。

ア 第1回 開催日：2月1日(土) 参加者数：8人 場所：北九州国際会議場
内容：北九州市防災フォーラムへの参加

自然災害と防災気象情報について講演会と意見交換会

イ 第2回 開催日：2月22日(土) 参加者数：5人 場所：戸畑区牧山小学校
内容：戸畑区地域防災訓練への参加

防災ゲーム「クロスロード」、地震体験、避難所体験、煙体験など

⑤ 外国人親子支援

帰国・外国人児童生徒とその家族のための学習支援・適応支援の場としての日本語教室及び交流行事を実施した。また、子育て中の保護者を対象とした日本語学習支援と情報提供の場として「ママとパパのためのほんご教室」も開催し、保護者同士のつながりを作る場づくりを実施した。

ア 夏休みにほんごひろば

夏休み期間中に日本語を集中的に学びたい、夏休みの宿題をひとりで終わらせるのが難しい、という外国人の子どもたちや、子どもと一緒に日本語を学びたいお母さんたちの日本語支援教室を実施した。

【小倉】開催場所：こくらインフォメーション 開催期間：8月6日(火)～9日(金)

参加者数：外国人9人 学生ボランティア8人

イ 放課後にほんごひろば

外国人の親子が日本語や教科学習をするための教室を、大学生ボランティアの協力を得て小倉と八幡の2か所で週1回ずつ開催した。

【小倉】開催場所：こくらインフォメーション (H25/9まで)

北九州まなびとESDステーション (H25/10 から)

開催期間：4月～3月 毎週火曜日 開催回数：35回

参加者数：外国人約9人(平均) 学生ボランティア約7人(平均)

【八幡】開催場所：北九州市立医生ヶ丘市民センター

開催期間：5月～3月 毎週木曜日 開催回数：35回

参加者数：外国人約10人(平均) 学生ボランティア約7人(平均)

ウ わくわくにほんごひろば(日本文化講座と共同で実施)

多様な文化的背景を持つ親子が、安心して楽しく参加できるイベントを季節ごとに行い、日本での生活適応支援を実施した。

① わくわくバスハイク 日時：10月5日(土) 場所：平尾台 参加者数：3人

② もちつき大会 日時：1月5日(日) 場所：国際村交流センター 参加者数：5人

エ ママとパパのためのにほんご教室

子育て中の外国人市民を対象に、日常生活に必要な読み書きや会話を学習する教室を小倉と八幡の2か所で開催した。また、日本での子育てに関する情報提供や、救急救命講習なども行った。

【小倉】開催場所：子育てふれあい交流プラザ

こくらインフォメーションもしくはAIMスクエア

開催期間：4月～12月 毎週水曜日参加者数：(初級)平均2人(中級)平均8人

【八幡】開催場所：北九州市立子どもの館 開催期間：4月～12月 毎週木曜日

参加者数：(初級)平均9人(中級)平均10人

⑥ 多文化共生拠点強化事業

北九州市の委託を受け、地域日本語教室の連携

また、日本語教室ボランティアのスキルアップ講座の実施や、日本語学習者への情報提供、日本語教室ボランティアと連携して日本語学習者が日本語を発表する機会の提供を行った。

ア 生活者としての外国人を対象とした「日本語おしゃべり発表会」の開催

北九州市内及び近郊に在住する外国人を対象に日本語で発表する「日本語おしゃべり発表会」を開催するため、日本語教室のボランティアを中心とする実行委員会と協力して実施した。

開催日：2月2日(日) 発表者数：22人

発表者出身国(地域)：計9か国10地域

来場者数：約180人 実行委員会：16人 実行委員会：全6回(9月～2月)

イ 日本語ボランティアスキルアップ講座の実施

地域の日本語教室ボランティアや日本語教室ボランティアに関心のある方を対象に、地域日本語教育におけるスキルアップ講座を年2回開催した。

*第1回 開催日：6月15日(土) 参加者数：28人

内 容：在留資格に関する基礎知識、多文化共生について

*第2回 開催日：11月9日(土) 参加者数：52人

内 容：「生活者としての外国人」と日本語

ウ 「生活者としての外国人」を対象とした日本語教室

開催日：1月～3月 参加者：約15人（平均）

開催場所：小倉（子育てふれあい交流プラザ）八幡（子どもの館）

⑦ 日本語教室を核とした共生の地域づくり検討事業

自治体国際化協会の助成を受け、日本語教室のボランティアグループとの「地域日本語教育関係者会議」を開催するほか、地域日本語教育の観点から、地域課題の解決に向けた検討を行った。

開催期間：11月～2月（計7回） 参加者（委員）数：26名

開催場所：八幡西生涯学習総合センター等

⑧ 中国帰国者の交流支援事業

北九州市の委託を受け、中国帰国者が地域社会で孤立することなく、社会的自立がなされるように、地域住民との交流会や学習会などを開催した。

また、日本語会話教室を週1回開催した。

ア 交流会・学習会

開催回数：5回（4月～3月） 参加者数：延103人

イ 中国帰国者のための日本語会話教室

開催日時：月4回 開催回数：40回 出席者数：平均7.3人

ウ 会話パートナー研修

中国帰国者の会話パートナーの活動に対する意義、理解を深めるための研修を実施。

開催日：2月18日 参加者数：会話パートナー8人、中国帰国者5人

(3) 多文化共生啓発事業

地域における多文化共生を推進するため、広く市民に啓発する講座を開催した。

① 多文化共生啓発事業（主に外国人市民対象）

多文化共生や日本での生活についてより深く理解し、実践してもらうための事業を開催した。

ア 外国人対象の防災講習会 ～体験からまなぼう～

外国人市民に対する防災意識の啓発と、災害時に適切な行動がとれるよう知識の普及を図るため体験型の講習会を実施した。

開催日：2月11日（火）祝日

場 所：AIMビル 対 象：外国人市民とその関係者など

内 容：起震車の体験、119番通報練習

参加者数：44人 通訳者：英語1人、中国語2人

イ 外国人市民が考える多国籍「防災座談会」

市内在住の外国人市民の生の声を聴く座談会を開催し、地域防災への理解や活性化を推進した。

開催日：2月11日（火）祝日 場 所：AIMビル72会議室

テーマ：外国人市民から見た「地域の防災」

参加者：北九州市内在住の外国人市民6人

ウ 多文化間 ミュージック・ケア

言葉の壁を超えて、日本人・外国人市民が同じ時間を共有し、子どもから高齢者まで一堂に会し、やさしい日本語を活用しながら音楽を通じた交流を行った。また、日本人と外国人市民が直接話しをする場を作り、多文化共生の啓発を図った。

開催日：3月2日(日) 場所：コムシティ3F大会議室 参加者数：30人

② 地域に密着した多文化共生の啓発（主に日本人対象）

学習会や外国人市民との意見交換会等を通じて多文化共生への啓発、理解を深めた。

ア みんな de Bousai まちづくり車座集会への参加

地域の防災について行政だけでなく市民の立場からや防災のまちづくりを考える車座集会に「外国人市民」も地域で暮らす市民の一人として、意見者となり集会に参加した。

開催日：6月（小倉北区、戸畑区、門司区）10月（八幡東区、八幡西区）

イ 市民カレッジ「外国人市民の声を聞いてみよう！」

生涯学習総合センター事業の1コースのコーディネートを担当した。

開催日：全7回（5月～7月）

場所：八幡西生涯学習総合センター 参加登録：31人

ウ グローバル人材ビジネスセミナーへのブース出展

主催：北九州市 開催日：6月18日(火) 会場：AIMビル（小倉北区）

エ 「黒崎宿・国際交流文化祭」へのブース出展、事業協力

主催：八幡西区役所 開催日：10月13日(日)

会場：曲里の松並木公園（八幡西区）

オ 「市民ふれあいフェスティバル」へのブース出展、事業協力

主催：北九州市社会福祉協議会 開催日：10月13日(日)

会場：ウェルとばた（戸畑区）

カ 「北九州エコライフステージ2013」へのブース出展参加

主催：北九州市社会福祉協議会 開催日：10月20日(日)

会場：勝山公園（小倉北区）

キ 「第6回アジア太平洋RCE地域会議」パネル出展

主催：北九州ESD協議会 開催日：10月21日(月)

会場：北九州国際会議場（小倉北区）

ク ひとみらい交流ウィーク「国際交流まつり」開催

開催日：11月9日(土) 会場：北九州国際交流協会 交流スペース

参加者：600人

ケ 「八幡イルミネーション点灯式」ブース出展、事業協力

主催：「つながる絆！八幡」実行委員会

開催日：11月15日(金) 会場：八幡駅前（八幡東区）

コ 「旧正月の食文化」及び「韓国伝統ポシャギ」の国際理解講座

開催日：1月25日(土)、26日(日)、2月2日(日)

会 場：いのちのたび博物館

③ 多文化共生の人材づくり事業（ひとみらいプレイス受託事業）

北九州市はアジアにおける多文化共生推進都市をめざしたまちづくりを推進しており、その実現のために、地域で暮らす日本人と外国人とが互いの違いを理解し、お互いを尊重しあうことがとても重要である。そこで、外国の異文化を理解するための事業を行い、将来の多文化共生を担う人材育成を目指した。

ア 「みんなで知ろう！～いろいろな国のこと～」

小・中学生を対象にゲームやクイズを通じて、海外の文化を楽しく学べる体験型イベントを実施した。

開催日：8月24日(土)参加者：40名 場所：交流スペース、ひとみらいプレイス

イ 「異文化を楽しもう！」

一般市民を対象に海外出身者自身が自国の文化や料理を紹介するイベントを実施した。

開催回数：3回（11月～2月） 参加者数：延人数 40人

場所：ユースステーション

ウ 「英語で語る自分の国」

海外出身者が自国の文化を英語で紹介することで、グローバル化する現代に必要とされる英語に親しみ、英語を通じて海外の文化に触れる機会を提供した。

開催回数：3回（9月～1月）参加者数：延105人

エ キーネットパネル展

「北九州国際交流団体ネットワーク」加盟団体のうち、希望する団体に活動内容を紹介するパネルを作成してもらい展示した。

開催期間：10月17日～11月12日 場所：ひとみらいプレイス通路

オ ひとみらいプレイス入居団体パネル展

ひとみらいプレイスに入居する各団体を紹介するパネル展を開催した。

開催期間：3月20日(木)～3月31日(月) 場所：ひとみらいプレイス通路

2 市民による国際交流の推進・支援

(1) 国際理解教育の推進

異なるものを理解・尊重する社会的な土壌をつくるために、市民を対象にした国際理解教育を推進した。

① 国際理解教育講座の開催

異文化理解に関心を持つ市民を対象に、世界の文化や習慣を体験的に学んでもらうため、小・中・高等学校や市民センター等へ外国人市民などを国際理解教育の講師として派遣する事業を福岡県、福岡市、北九州市の3協会の協働事業として実施した。派遣講師数：25人

② 国際交流員派遣

国際交流員が講師となり、市民センター等で、自国の生活や文化などを紹介することにより市民の異文化理解を促進した。また、福岡県の国際交流員（CIR）、外国人指導助手（ALT）、県内各自治体や国際交流団体が企画・主催する異文化体験イベントに派遣・参加した。

ア 依頼による派遣 派遣件数：15 件

イ 「アンディの Enjoy 英会話」

国際交流員が講師となり、英語で交流する講座を開催した。

* 第1回～第4回（6月～1月）全18回 参加者数：延30人

ウ 「ネイティブの英語にふれよう」

英語を使ってネイティブと一緒に楽しく学べるような料理、ゲームなどを実施した。

開催日：3月30日（日）

場 所：八幡東生涯学習センター 参加者：小学生4, 5, 6年生 20人

③ アジア異文化理解セミナーと多文化共生絵画コンクール

入居施設であるコムシティのリニューアルオープンにあたり、協会の存在を市民に知ってもらうと同時に、協会が行っている数々の事業をPRするために本事業を開催した。開催にあたり公益財団法人西日本国際財団の協力を得て実施した。

ア 「アジア新発見！～音楽と踊りと食で文化体験～」

アジアの文化を「見る」「感じる」「味わう」というテーマで体験することにより、より深く理解し親しみをもってもらい異文化理解の促進を図った。

開催日：平成25年4月21日（日） 場 所：交流スペース 来場者：600人

イ 多文化共生をめざすわたしたちの絵画コンクール

「多文化共生」の意味を発信する機会とし、国際交流に関心の薄い層の市民にも協会の活動目的を伝え、親しみをもってもらうために開催した。

募 集：4月2日（火）～4月30日（火）

一般投票：5月16日（木）～6月27日（木） 応募総数：634人

展 示：5月16日（木）～8月31日（土） 場 所：交流スペース

一次審査通過：157作品

(2) ホストファミリーの支援及び連携

国際交流や異文化体験を希望する家庭にホストファミリーボランティアとして登録してもらい、ホームビジットの実施や留学生と交流する機会の提供を行った。また、ホストファミリー同士の意見交換会を実施し、情報交換等を行った。

① ホームビジット

JICA研修員を家庭に招き、お互いの交流を通じて相互理解と親睦を深めた。

実施回数：2回（9月8日、11月30日）参加者数：21人 受入家庭：20家庭

② 留学生にここご家族

市内大学に通う留学生とホストファミリーとの半年、または1年にわたる交流を支援した。また、留学生やホストファミリー同士の交流を深める交流会やバスツアーを実施した。

参加留学生数：春期36人、秋期30人、合計66人 受入家庭：延べ53家庭

対面式：春期6月9日（日）、秋期10月19日（土）

* バスツアー交流会 開催日：11月16日（土） 目的地：大分・別府

参加学生数：15人 参加ホストファミリー数：13家族（19人）

③ ホストファミリー意見交換会

プログラムに参加している家庭同士の情報交換や交流を深めるために意見交換会を実施した。

開催日：3月9日(日) 開催場所：北九州国際交流協会 交流スペース

参加者数：ホストファミリー11家庭 (31人)

④ ホストファミリー向けイスラム料理講座

近年増えているイスラム圏出身のゲストの受け入れをよりスムーズにするため、インドネシア人の講師を迎え、イスラム教に対応する料理の紹介を行った。

開催日：3月9日(日) 開催場所：北九州国際交流協会 ミーティングルーム

参加者数：ホストファミリー10家庭 (26人)

(3) 留学生等の支援

① 留学生支援

ア 中古自転車の提供

北九州市建設局から提供を受けた中古自転車を修理再生後、各大学・専門学校の留学生担当課を通じて、希望留学生に提供した。提供台数：48台

イ 就活応援セミナーの開催

福岡県留学生サポートセンターと協働で日本での就職を希望する留学生を対象に全4回のセミナーを開催した。

開催日：7月～11月 参加者数：延 15名

ウ 映画料金の割引

留学生は、北九州市内の映画館の窓口で学生証と外国人登録証明書を提示すれば、大学生料金1,800円が1,000円になる割引制度を映画興行組合の協力により継続実施した。

② 関原北九州大連友好基金事業

北九州市と大連市との友好交流に熱い情熱を燃やし、交流の発展を願い続けた故関原一夫・貞子ご夫妻のご遺志により、関原北九州大連友好基金が設立された。

亡きご夫妻のご遺志に添い、大連市との幅広い交流に生かすため、特に若者の将来に期待し、下記の事業を行った。

ア 大連市留学生奨学金支給

大連市出身若しくは大連市内の大学及び専門学校を卒業した人で、北九州市内の大学、短大等に留学している4人に、月額2万円を支給した。

イ 大連市大学生奨学金支給

大連市内の大学の日本語学科に在学中の中国人学生で、日本語を学び、且つ優秀な学力を有する者20人に、月額175元を支給した。

③ 留学生日本語弁論大会

母国を離れ日本で暮らす留学生たちが、日本での様々な体験を通じて感じたこと、考えていることを日本語で発表する場を提供した。

日本人にとっても留学生の声に耳を傾けることで様々な価値観や日本の姿を見直すきっかけとなるよう、また、留学生の日本語の上達に資することから、将来、国境を越えた国際交

流への一助となることを願い本大会を開催した。開催にあたり八幡法人会、北九州小倉ライオンズクラブの協力を得て実施した。

開催日：12月8日(日) 発表者：書類審査を通過した10人(中国8人、韓国2人)

④ 日本文化講座

「ゆかた」「茶道」などの日本文化に親しみながら、日本人の心やマナーについて理解するための講座と、日頃、足を運ぶことのない市内の観光地等を訪ね、地元を知ることによって、北九州市に愛着を持ってもらうことを目的としたお出掛け講座を開催した。

開催期間：6月～1月(全5回) 参加者数：延80人

⑤ 留学生関係機関連絡会(旧 留学生フォーラム)

北九州市内の各大学・短期大学・高等専門学校で勉強している留学生をめぐる諸問題について、留学生担当で協議し、その解決に向けての方策等の検討及び意見交換の場として、年1回開催した。

開催日：3月6日(木) 場 所：八幡西生涯学習総合センター

(4) 青少年交流の促進

市内の青少年が、将来グローバルに活躍できる人材となれるように、海外の青少年との相互交流を促進した。

① 仁川市との青少年相互派遣

青少年の育成のみならず、姉妹都市である仁川市との交流をより一層深めることを目的に、青少年を相互に派遣する事業を仁川国際交流財団と協働で実施した。本年度は、仁川市の青少年(中学・高校生)が北九州市を訪問しホームステイ、レクリエーション、宿泊型の交流活動を行った。

開催期間：8月2日(金)～8月5日(月) 参加者数：青少年17人

ホストファミリー10家庭

(5) 市民ボランティアの育成

協会に登録したボランティアやグループの活動を支援し、その育成を図った。

① 協会ボランティア(登録数は2014年3月31日現在)

ア 情報・図書ボランティア(登録5人) ※平成26年3月末終了

イ 外国語談話室ボランティア(登録14人) ※平成26年2月末終了

ウ 中国帰国者交流支援ボランティア(登録7人)

エ ホストファミリーボランティア(登録126家庭)

オ 行政通訳ボランティア(登録67人)

カ 専門家相談通訳ボランティア(登録6人)

キ 外国人親子のためのにほんごひろばボランティア(登録16人)

ク 災害時通訳サポーター(登録34人)

② ボランティア育成講座の実施

ア 行政通訳者研修

開催回数：1回(9月21日) 参加者数：12人

イ 医療通訳者研修

開催回数：3回（7月27日、8月21日、1月18日） 参加者数：延 41人

ウ 災害時通訳サポーター（再掲）

開催回数：2回（2月1日、2月22日） 参加者数：延 13人

エ 中国帰国者交流ボランティア会話パートナー研修（再掲）

開催回数：1回（2月18日）参加者数：5人

(6) 国際交流団体の支援

北九州市が進める国際施策の一翼を担うことができるよう、北九州地域の国際交流団体の活動や資金等の支援を行った。

① 北九州国際交流団体ネットワーク（キーネット）支援事業

北九州地域の国際交流団体ネットワーク組織であるキーネットの活動を支援した。加盟団体相互の情報交換を行うキーネットニュース等の作成支援を行った。

② 民間団体との連携推進

本市の国際化及び多文化共生に貢献している民間団体の活動が、広く世間に評価されるように表彰事業に民間団体を推薦した。また、民間団体と連携・協働するとともに、民間団体が開催する事業の共催や後援、当協会が配信するメールマガジンに情報提供し広報支援等を行った。

表彰推薦：2件（うち受賞1件） 共催：5件 後援：26件

3 その他

(1) 広報活動

① 市政だより

北九州市が月2回発行する市公報「市政だより」に、協会が実施する事業やイベント情報等を掲載し、協会のPRに努めた。 掲載件数：75件

② テレビ・ラジオ・新聞による報道

テレビ・ラジオ・新聞等から事業に関する取材を受け広報を行った。

取材及び広報件数 テレビ：10件 新聞：11件

(2) 災害義援金等

キーネットと連携して、フィリピン台風 災害救援金の募金箱を設置し、日本赤十字社を通して、現地での救援、復興活動を支援するために充てた。

設置期間：平成25年11月13日～平成26年2月28日

金額：57,763円

国際村交流センター地域にぎわいづくり共同事業体

北九州市立国際村交流センターの管理運営については、平成21年度から平成25年度までの5年間、公益財団法人北九州国際交流協会と太平ビルサービス株式会社北九州支店とで「国際村交流センター地域にぎわいづくり共同事業体」を構成し、指定管理者として業務を受託した。

あわせて、施設の一体的管理の必要性から、併設の北九州市立響ホール、北九州市立八幡東生涯学習センター及びアジア低炭素化センターの施設管理業務も受託した。

共同事業体を組織することにより、北九州国際交流協会は、北九州市が目指す多文化共生社会の実現に向けた政策支援事業の実施と庶務経理部門を担当し、太平ビルサービスは蓄積したノウハウと人的機能により施設の維持管理部門を担当、それぞれが有する特性を生かして施設の管理運営にあたった。

1 事業運営に関する業務

事業運営に当たっては、北九州市が設置した公の施設としての設置目的を踏まえ、一層の国際交流と多文化共生を推進し、本市の国際化及び市民文化の向上、活性化を図ることを基本方針として業務を行った。

(1) 国際交流ラウンジの運営に関する業務

幅広い層の市民がラウンジを利用しやすい環境とするため、交流イベントや語学の交換レッスン等の情報の告知を掲出する「メッセージボード」を設置管理し、市民と外国人市民との情報交換の輪を広げた。

また、図書コーナーについては、配列方法等を整理し、利用者が使いやすい環境を整備した。

また、日本語学習の図書を整備し、日本語を学習している外国人市民の支援や、ラウンジを利用して活動する日本語ボランティアの支援も実施した。

図書コーナー

世界の各国情報、外国語・日本語教材、異文化などに関する様々な分野の図書の貸出（およそ644冊）や外国語新聞等の閲覧を行った。

メッセージボードの設置

交流イベントの案内や物品の提供、語学の交換レッスンなど市民と在住外国人の情報交換や情報提供ができるメッセージボードを設置し、交流の促進を行った。

掲示件数：年間19件

(2) 利用者サービスに関する（にぎわい創出）業務

国際交流ゾーンの各施設や市内や周辺地域で活動する民間団体、NPO、市民ボランティア等と協働し、センターのにぎわいを創出するため、ラウンジを活用しての事業を実施した。

ア 外国語談話室

7カ国語（英語、中国語、韓国語、ベトナム語、インドネシア語、スペイン語、ポルトガル語）の談話室を開催し、外国人市民のスピーカー（ボランティア）に自国の言語で文化や生活習慣等について紹介してもらい、市民に国際理解を深めてもらうとともに、外国人市民と市民との交流を図った。

開催場所： 国際交流ラウンジ 参加者数：延 1,695 人

イ 情報機能の拡充・日本語ボランティア支援

外国や外国語に関する図書を多く揃え、外国語学習者や、海外に関心のある市民の利用を促進した。

また、日本語教材を揃え、日本語学習中の外国人ならびに日本語学習支援を行っているボランティアの日本語学習への支援を行った。 蔵書数：6,599 冊

2 施設の管理に関する業務

施設の立地状況や竣工後 20 年を経過していることを考慮し、施設利用者や入居団体が快適かつ安全に利用できるよう、維持・保全業務を行った。

また、施設内の位置関係が分かりにくいことから、ホール使用、会議室利用、事業実施時など、来館者が迷わず、安全に目的の場所へ行けるよう、適時案内板を増設するなどスムーズな誘導に努めた。

(1) 施設保全業務

清掃・警備・駐車場・設備保全等各業務を共同事業体に集約し、統括管理することにより経費の削減と効率的な業務の実施を図った。

また、定期的な点検を要する業務については再委託を行うなど、施設の管理水準の維持と効率的な人員配置に努め、良質なサービスの提供と効率的な施設運営に努めた。

効率的に電力を監視するために、H24 年度から導入した「E C O ネットシステム」という電力デマンド装置を引き続き使用し、ピーク時電力の「見える化」を図った。

電力デマンド ▲6.3% (H23 年度比)

全館消費電力量 ▲9.4% (H23 年度比)

* H24 年度 1-3 月度響ホールが休館であったため、比較年度を H23 年度とした。

(2) 駐車場設備維持業務、駐車場料金徴収等管理業務

使用料の徴収に当たっては、大きな催事では料金前払い制度を採用し、利用車両の渋滞を避け、スムーズな入退場に努めた。

H23 年度より、前払い料金制度のチェック体制を見直し、これまで以上に、確実な料金徴収が実施できる環境を整えた。

また、車高制限などの表示等により駐車場内でのトラブルの解消を図った。

(3) 危機管理業務

管理する施設は、指定管理部分と指定管理者の出先機関や市直営施設がある複合施設のため、建物全体と区分所有者の安全管理とが求められている。

犯罪や事故の未然防止、非常時対策として区分所有者を含めた危機管理体制を構築し、施設の見回りや危険個所の調査・点検を行うとともに、入居者と日常的に情報交換を行い、安全に利用できる施設となるよう努めた。

① 日常の安全

施設の警備に当たっては、施設の利用時間帯においては協会職員 2 人体制とし、夜間は警備員 1 人体制で臨み、警備会社への通報システムと合わせて不測の事態に備えた。また、日

常的に職員による不定時巡回を行うなど、犯罪や事故の未然防止に努めた。

② 防災対策、非常時災害対策

自然災害や様々な災害に対処するため、施設全体の一体的な危機管理体制を構築し、災害発生時には、市担当部局と連携し被害の未然防止と拡大の防止を図る体制を整えた。

また、災害発生時を想定し、来館者と入居団体職員の安全を図るため、1月に全館一斉の防災訓練を実施した。(入居者60人参加)また併せてAED講習会を実施した。

3 その他管理運営に関する業務

(1) 入居団体との連絡調整

当施設は、国際村交流センターに当協会と北九州国際技術協力協会が入居し、響ホール、八幡東生涯学習センターとアジア低炭素化センターが併設された複合施設となっている。入居団体が施設を共有し有効に活用するため、各施設の利用状況について施設内ランを構築し、月間スケジュール等情報の共有を図った。

また、定期的に入居者会議を開催し(省エネ対策の施設委員会も同時開催)、情報交換を行い、協力と連携を進めるとともに、入居団体の意見や要望を調整し迅速に対応することで、よりよい複合施設となるよう努めた。

入居者会議 年間5回開催

(2) 計画的な施設管理

施設の機械設備は、これまで保守点検及び適切な運転に努めてきたものの、設置後20年を経過し経年劣化が進んでいる。

機械設備を機能不全に陥る前に順次更新していくこととし、今年度は、市予算で実施する空調機器の大規模改修計画2年目として、学習センター棟及び会議棟の床置きエアコンの機器更新・補修が実施され、指定管理者として各入居団体の要望を取りまとめ、工事日程などの調整にあたった。

指定管理者としては、市と協議しながら自家発電機始動用バッテリー交換や消防設備改修、給排気塔及び機械室の防水工事を実施した。

Ⅲ 平成 25 年度決算

1 貸借対照表 (総括表)

平成 26 年 3 月 31 日現在 (単位: 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現 金 預 金	23,330,736	35,698,464	▲ 12,367,728
未 収 金	5,637,116	3,971,037	1,666,079
前 払 費 用	82,000	4,000	78,000
流 動 資 産 合 計	29,049,852	39,673,501	▲ 10,623,649
2. 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
投 資 有 価 証 券	298,414,500	298,414,500	0
定 期 預 金	1,585,500	1,585,500	0
基 本 財 産 合 計	300,000,000	300,000,000	0
(2) 特 定 資 産			
留 学 生 等 支 援 基 金 積 立 資 産	55,140,128	54,859,053	281,075
特 定 資 産 合 計	55,140,128	54,859,053	281,075
(3) そ の 他 固 定 資 産			
車 両 運 搬 具	757,848	1,013,518	▲ 255,670
什 器 備 品	93,459	232,582	▲ 139,123
敷 金	0	2,236,320	▲ 2,236,320
リ サ イ ク ル 預 託 金	8,830	8,830	0
ソ フ ト ウ ェ ア	1,137,780	1,455,300	▲ 317,520
そ の 他 固 定 資 産 合 計	1,997,917	4,946,550	▲ 2,948,633
固 定 資 産 合 計	357,138,045	359,805,603	▲ 2,667,558
資 産 合 計	386,187,897	399,479,104	▲ 13,291,207
Ⅱ 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未 払 金	7,680,464	21,001,533	▲ 13,321,069
前 受 金	160,000	4,000	156,000
預 り 金	647,254	1,031,443	▲ 384,189
未 払 消 費 税 等	1,144,400	810,700	333,700
未 払 法 人 税 等	434,700	40,500	394,200
流 動 負 債 合 計	10,066,818	22,888,176	▲ 12,821,358
負 債 合 計	10,066,818	22,888,176	▲ 12,821,358
Ⅲ 正 味 財 産 の 部			
1. 指 定 正 味 財 産			
寄 附 金	100,000,000	100,000,000	0
指 定 正 味 財 産 合 計	100,000,000	100,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一 般 正 味 財 産	276,121,079	276,590,928	▲ 469,849
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(55,140,128)	(54,859,053)	(281,075)
正 味 財 産 合 計	376,121,079	376,590,928	▲ 469,849
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	386,187,897	399,479,104	▲ 13,291,207

2 正味財産増減計算書（総括表）

自 平成 25 年 4 月 1 日

至 平成 26 年 3 月 31 日（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[4,702,178]	[2,351,075]	[2,351,103]
基本財産受取利息	4,702,178	2,351,075	2,351,103
特定資産運用益	[901,213]	[451,266]	[449,947]
特定資産受取利息	901,213	451,266	449,947
受取会費	[456,000]	[0]	[456,000]
受取賛助会費	456,000	0	456,000
事業収益	[41,086,038]	[24,654,051]	[16,431,987]
日本語教室受託事業収益	0	2,046,189	▲ 2,046,189
多文化共生拠点強化業務事業収益	4,568,340	0	4,568,340
指定管理業務等受託事業収益	31,607,895	18,671,236	12,936,659
行政通訳派遣受託事業収益	0	997,920	▲ 997,920
医療通訳派遣受託事業収益	0	482,391	▲ 482,391
中国帰国者支援受託事業収益	2,367,241	2,456,315	▲ 89,074
コミュニティ通訳等派遣業務事業収益	1,399,532	0	1,399,532
多文化共生の担い手づくり事業収益	984,900	0	984,900
いのちのたび博物館受託事業収益	158,130	0	158,130
受取補助金等	[58,075,286]	[28,570,909]	[29,504,377]
受取北九州市補助金	55,097,000	27,300,000	27,797,000
受取自治体国際化協会助成金	2,580,731	1,270,909	1,309,822
受取その他の助成金	397,555	0	397,555
受取負担金	[1,000,000]	[1,000,000]	[0]
受取負担金	1,000,000	1,000,000	0
受取寄附金	[434,757]	[31,293]	[403,464]
受取寄附金	434,757	31,293	403,464
雑収益	[898,583]	[620,608]	[277,975]
受取利息	2,792	1,711	1,081
その他雑収益	895,791	618,897	276,894
経常収益計	107,554,055	57,679,202	49,874,853
(2) 経常費用			
事業費	[104,720,561]	[58,430,451]	[46,290,110]
役員報酬	5,426,400	2,918,400	2,508,000
給料手当	39,752,293	17,635,476	22,116,817
臨時雇賃金	9,070,149	5,651,833	3,418,316
福利厚生費	8,640,292	4,000,787	4,639,505
材料費	140,398	64,560	75,838
奨学金	1,659,195	1,055,602	603,593
旅費交通費	2,619,120	1,797,640	821,480
通信運搬費	1,531,173	637,918	893,255
減価償却費	394,793	95,533	299,260
消耗什器備品費	564,980	2,234,505	▲ 1,669,525
消耗品費	2,271,115	1,364,846	906,269
修理費	1,548,838	764,977	783,861
修繕費	4,616,850	4,211,025	405,825
車両費	304,150	206,121	98,029
印刷製本費	609,053	346,290	262,763

光熱水費	1,952,136	604,744	1,347,392
リース料	160,650	1,582,680	▲ 1,422,030
使用料賃借料	8,736,019	4,711,553	4,024,466
災害保険料	387,730	226,065	161,665
報償費	2,080,078	806,929	1,273,149
租税公課	1,972,249	803,731	1,168,518
支払負担金	2,400,000	1,000,000	1,400,000
委託費	6,550,500	4,451,490	2,099,010
図書費	256,469	461,585	▲ 205,116
食糧費	395,703	105,152	290,551
雑費	680,228	691,009	▲ 10,781
管理費	[2,868,643]	[1,919,556]	[949,087]
役員報酬	375,600	228,600	147,000
給料手当	389,465	258,241	131,224
福利厚生費	107,012	99,631	7,381
会議費	40,273	7,720	32,553
旅交通費	6,720	0	6,720
通信運搬費	7,821	13,131	▲ 5,310
減価償却費	317,520	132,300	185,220
消耗品費	1,181	1,837	▲ 656
印刷製本費	4,252	27,720	▲ 23,468
光熱水費	88,888	186,075	▲ 97,187
リース料	7,938	0	7,938
使用料賃借料	55,857	131,148	▲ 75,291
租税公課	19,551	12,869	6,682
支払負担金	140,000	200,000	▲ 60,000
委託費	1,023,750	601,020	422,730
交際費	99,273	19,264	80,009
雑費	183,542	0	183,542
経常費用計	107,589,204	60,350,007	47,239,197
当期経常増減額	▲ 35,149	▲ 2,670,805	2,635,656
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
除却損失	[0]	[692,649]	[▲ 692,649]
什器備品除却損	0	23,761	▲ 23,761
電話加入権除却損	0	668,888	▲ 668,888
経常外費用計	0	692,649	▲ 692,649
当期経常外増減額	0	▲ 692,649	692,649
税引前当期一般正味財産増減額	▲ 35,149	▲ 3,363,454	3,328,305
法人税、住民税及び事業税	434,700	40,500	394,200
当期一般正味財産増減額	▲ 469,849	▲ 3,403,954	2,934,105
一般正味財産期首残高	276,590,928	279,994,882	▲ 3,403,954
一般正味財産期末残高	276,121,079	276,590,928	▲ 469,849
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産期末残高	100,000,000	100,000,000	0
III 正味財産期末残高	376,121,079	376,590,928	▲ 469,849

※「前年度」欄は、平成24年10月～平成25年3月までの金額。

参考

国際村交流センター地域にぎわいづくり共同事業体

1 貸借対照表

平成26年3月31日現在（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現 金 預 金	11,605,176	22,359,314	▲ 10,754,138
未 収 金	885,443	24,731	860,712
仮 払 金	70,977	0	70,977
前 払 費 用	0	4,000	▲4,000
流 動 資 産 合 計	12,561,596	22,388,045	▲ 9,826,449
2. 固 定 資 産			
(1) その他の固定資産			
什 器 備 品	0	166,950	▲ 166,950
会 計 間 勘 定	166,950	0	166,950
その他の固定資産合計	166,950	166,950	0
固 定 資 産 計	166,950	166,950	0
資 産 合 計	12,728,546	22,554,995	▲ 9,826,449
II 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未 払 金	5,979,722	21,676,392	▲ 15,696,670
預 り 金	53,390	368,384	▲ 314,994
未 払 消 費 税 等	1,124,849	711,580	413,269
未 払 法 人 税 等	434,700	40,500	394,200
会 計 間 勘 定	3,137,781	177,059	2,960,722
会計間勘定（非資金）	177,059	0	177,059
流 動 負 債 合 計	10,907,501	22,973,915	▲ 12,066,414
負 債 合 計	10,907,501	22,973,915	▲ 12,066,414
III 正味財産の部			
1. 指 定 正 味 財 産			
指 定 正 味 財 産 合 計	0	0	0
2. 一 般 正 味 財 産	1,821,045	▲ 418,920	2,239,965
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正 味 財 産 合 計	0	0	0
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	12,728,546	22,554,995	▲ 9,826,449

2 正味財産増減計算書

自 平成 25 年 4 月 1 日

至 平成 26 年 3 月 31 日 (単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取指定管理料等			
北九州市指定管理等収益	105,040,006	54,337,721	50,702,285
② 雑収益			
雑収益	215,622	99,398	116,224
経常収益計	105,255,628	54,437,119	50,818,509
(2) 経常費用			
① 共同事業体事業費			
給料手当	8,162,915	5,292,568	2,870,347
臨時雇賃金	2,438,361	1,266,261	1,172,100
福利厚生費	1,721,184	828,356	892,828
材料費	0	6,078	▲6,078
旅費交通費	285,640	238,370	47,270
通信運搬費	327,762	109,514	218,248
減価償却費	0	63,000	▲63,000
消耗什器備品費	0	455,175	▲455,175
消耗品費	1,407,157	1,036,139	371,018
修繕費	5,748,838	4,964,977	783,861
車両費	3,000	60,541	▲57,541
印刷製本費	0	20,160	▲20,160
光熱水費	31,167,637	14,765,376	16,402,261
リース料	9,828	0	9,828
使用料賃借料	2,476,771	1,428,484	1,048,287
災害保険料	143,350	133,315	10,035
報償費	0	211,999	▲211,999
租税公課	1,780,040	711,580	1,068,460
支払負担金	1,000,000	1,000,000	0
委託費	43,707,014	21,402,219	22,304,795
図書費	223,728	436,070	▲212,342
食糧費	0	16,038	▲16,038
雑費	48,715	192,260	▲143,545

経常費用計	100,651,940	54,638,480	46,013,460
当期経常増減額	4,603,688	▲201,361	4,805,049
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
除却損失			
電話加入権除却損	0	177,059	▲177,059
経常外費用計	0	177,059	▲177,059
当期経常外増減額	0	▲177,059	177,059
他会計振替額	▲1,929,023	0	▲1,929,023
税引前当期一般正味財産増減額	2,674,665	▲378,420	3,053,085
法人税、住民税及び事業税	434,700	40,500	394,200
当期一般正味財産増減額	2,239,965	▲418,920	2,658,885
一般正味財産期首残高	▲418,920	0	▲418,920
一般正味財産期末残高	1,821,045	▲418,920	2,239,965
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	1,821,045	▲418,920	2,239,965

※「前年度」欄は、平成24年10月～平成25年3月までの金額。

IV 平成 26 年度事業計画

国際交流協会 事業計画書

本協会は、「多文化を受け入れ世界に開かれた魅力ある地域づくりと人づくり」という長期ビジョンの下、「1 外国人市民の支援」、「2 行政・民間団体連携」、「3 グローバル人材育成」の3つの分野における事業を実施する。

1 外国人市民支援事業（4,211千円） [25年度 8,079千円]

(1) 多言語による生活情報の提供（530千円） [25年度 610千円]

日本語を十分に理解できない外国人市民に対して、地域生活において必要となる情報を多言語で様々な媒体により提供する。

① 外国人市民への情報提供

外国人市民向けに毎月、英語・中国語・韓国語・やさしいにほんごでメールによる情報提供を行う。また、あわせて印刷版もスペース等で配布する。

② ホームページによる広報

日本語・英語・中国語・韓国語・やさしいにほんごによる多言語ホームページによるリアルタイムな情報提供を行う。

(2) コミュニケーション支援事業（2,651千円） [25年度 6,164千円]

コミュニケーションに困難を感じている外国人市民に対して、地域社会で孤立することなく日本人と共生できるように支援を行う。

① 外国人インフォメーションセンター

日本語・英語・中国語・韓国語による外国人相談及び情報提供を八幡西区コムシティ及び小倉北区役所において行う。また、専門家による法律、ビザ・入管関係、日常生活での悩みごとの無料専門相談会を毎月1回実施する。

② 行政通訳派遣業務

外国人市民への行政サービスの手助けとして、区役所や学校等から要請があった場合、行政通訳者を派遣する。また、外国人インフォメーションセンター小倉北区役所出張所での通訳サポートも行う。

③ 外国人市民への防災支援

災害時に弱者となりやすい外国人支援のため、防災啓発や災害時通訳サポーターの拡充とフォローアップ研修を実施する。

④ 医療通訳派遣

外国人市民が安心して医療を受けられるように、病院からの依頼があった際に医療通訳者を病院に派遣する。

⑤ 外国人子ども支援

多文化の子どもたちの日本語能力の向上と学習支援事業を実施する。

⑥ 外国人生活者支援

地域で暮らす外国人を対象とした日本語教室を開催し、日本語習得支援に加えて生活に必要な情報提供を行う。

⑦ 中国帰国者の交流支援

中国帰国者が地域社会で孤立することなく、できるだけ早く社会的自立がなされるように、生活適応のための日本語学習会等を開催する。

(3) 多文化共生啓発事業（1,030千円） [25年度 1,305千円]

地域における多文化共生の推進のために、市民に対して多文化共生の地域づくりについて啓発を行う。また、地域の問題や人権等に関する学習会等を開催し、多文化共生について考える機会を提供する。

① 多文化共生啓発

多文化共生についてより深く理解し身近に感じてもらうため、市民や市民団体等に対し学習会などを通して、多文化共生の啓発を行う。

② 多文化共生の人材づくり

多文化共生を担う人材の育成を行う事業を「北九州ひとみらいプレイス」において実施する。

2 行政・民間団体連携事業（110千円） [25年度 1,160千円]

(1) 民間団体の支援・連携推進事業（110千円） [25年度 1,160千円]

北九州地域の国際化及び多文化共生を推進するため、市民団体の活動支援や連携を図る。

① 北九州国際交流団体ネットワーク（キーネット）支援

キーネットの目的を達成するための活動を支援する。

② 民間団体の活動支援

本市の国際化及び多文化共生に貢献している民間団体の活動が、広く世間に評価されるように表彰事業に民間団体を推薦する。また、民間団体と連携・協働するとともに、民間団体が開催する事業の共催や後援、広報支援等を行う。

(2) 行政との連携推進事業（再掲 2,186千円）

① 行政通訳派遣（再掲）

外国人市民への行政サービスの手助けとして、区役所や学校等から要請があった場合、行政通訳者を派遣する。また、小倉北区役所での外国人インフォメーションセンターの通訳サポートも行う。

② 外国人市民への防災支援（再掲）

災害時に弱者となりやすい外国人支援のため、防災啓発や災害時通訳サポーターの拡充とフォローアップ研修を実施する。

③ 中国帰国者の交流支援（再掲）

中国帰国者が地域社会で孤立することなく、できるだけ早く社会的自立がなされるように、生活適応のための日本語学習会等を開催する。

④ 多文化共生の人材づくり（再掲）

多文化共生を担う人材の育成を行う事業を「北九州ひとみらいプレイス」において実施す

る。

3 グローバル人材育成事業 (2,526 千円) [25 年度 4,070 千円]

(1) 国際理解教育の推進事業 (402 千円) [25 年度 865 千円]

異なるものを理解・尊重する社会的な土壌をつくるために、市民を対象にした国際理解教育を推進する。

① 国際理解教育講師の派遣・紹介

小・中学生や異文化について興味のある市民を対象に、世界の文化や習慣を体験的に学習してもらうため、外国人市民等を国際理解教育の講師として小・中学校、市民センター等に派遣する事業を福岡県国際交流センター・福岡国際交流協会・北九州国際交流協会の協働事業として実施する。

② 国際交流員派遣

国際交流員を小学校や市民センター等に講師として派遣し、自国の文化等を紹介することにより市民の異文化理解を促進する。

③ 国際理解教育の推進

異文化理解を推進し多文化共生社会を推進するための事業の実施もしくは協力を行う。

(2) ホストファミリーの支援事業 (270 千円) [25 年度 487 千円]

国際交流や異文化を体験を希望する家族をホストファミリーとして登録し、ホームビジットの機会の提供や交流会を実施する等、ホストファミリーの支援を行う。

① ホームビジット・留学生にここ家族

JICA 研修員を家庭に招き、お互いの交流を通じて、相互理解と親睦を深める。また、大学等に通う留学生とホストファミリーとの長期交流を支援する。

(3) 留学生等の支援事業 (1,666 千円) [25 年度 2,053 千円]

市内の大学等に通う留学生に対して生活支援を行うとともに、留学生が日頃の考えを発表する機会を提供する。また、大連市出身又は大連市内の大学又は専門学校を卒業し、北九州市内の大学、短期大学等に留学している者に奨学金を支給する。

① 留学生への情報提供

新しく北九州に転入してきた留学生に対して、生活に必要な情報や協会の外国人支援情報等を提供する。

② 留学生支援

市内の留学生等を対象にした中古自転車のあっせん事業を実施する。また、各大学の留学生担当及び留学生支援機関を集めて、意見交換のため留学生関係機関連絡会議を実施する。

③ 関原北九州大連友好基金

大連市出身又は大連市内の大学又は専門学校を卒業し、北九州市内の大学、短期大学等に留学している者 3 名程度に奨学金 (月額 2 万円) を支給する。また、大連市内の大学に在学中の中国人学生で日本語を学び、かつ、優秀な学力を有する者 20 名程度に、奨学金 (月額 175 元) を支給する。

④ 留学生弁論大会

北九州市内在住などの留学生が感じたことを発表してもらい、留学生の日本語学習の意欲増進と、日本人が留学生を理解する一助とするため弁論大会を開催する。

(4) 青少年交流の促進事業（158 千円） [25 年度 630 千円]

市内の青少年が、将来グローバルに活躍できる人材となれるように、海外の青少年との相互交流を促進する。

① 仁川市との青少年相互派遣

青少年の育成のみならず、姉妹都市である仁川市との交流をより一層深めることを目的に、青少年を相互に派遣する事業を北九州市及び仁川国際交流センターと協働で行う。

(5) 市民ボランティアの育成事業（30 千円） [25 年度 35 千円]

北九州地域の国際交流や多文化共生を進めるための協力者として、その能力を十分発揮できるように、市民ボランティアの育成を図る。

① ボランティア育成講座の実施

協会事業をサポートするボランティアや、国際交流や多文化共生事業に関係する市民ボランティアの能力を向上させるため、講習会等を実施し、活動のための支援を行う。

V 平成 26 年度予算

1 収支予算書(総括表)

自 平成 26 年 4 月 1 日

至 平成 27 年 3 月 31 日 (単位:千円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[4,701]	[4,701]	[0]
基本財産受取利息	4,701	4,701	0
特定資産運用益	[920]	[920]	[0]
特定資産受取利息	920	920	0
受取会費	[600]	[600]	[0]
賛助会員受取会費	600	600	0
事業収益	[4,603]	[41,738]	[▲ 37,135]
日本語教室受託事業収益	0	4,569	▲ 4,569
外国人市民への防災支援受託事業収益	404	0	404
指定管理業務等受託事業収益	0	31,826	▲ 31,826
コミュニティ通訳等派遣受託事業収益	999	1,400	▲ 401
人材育成受託事業収益	900	1,200	▲ 300
中国帰国者支援受託事業収益	2,300	2,743	▲ 443
受取補助金等	[49,458]	[55,543]	[▲ 6,085]
受取北九州市補助金	49,458	52,958	▲ 3,500
受取自治体国際化協会助成金	0	2,585	▲ 2,585
受取負担金	[0]	[1,000]	[▲ 1,000]
受取負担金	0	1,000	▲ 1,000
受取寄附金	[400]	[400]	[0]
受取寄附金	400	400	0
雑収益	[320]	[1,020]	[▲ 700]
受取利息	20	20	0
その他雑収益	300	1,000	▲ 700
経常収益計	61,002	105,922	▲ 44,920
(2) 経常費用			
事業費	[65,584]	[106,680]	[▲ 41,096]
役員報酬	5,837	5,837	0
給料手当	31,586	39,286	▲ 7,700
臨時雇賃金	3,862	9,703	▲ 5,841
福利厚生費	7,219	9,147	▲ 1,928
旅費交通費	2,150	3,335	▲ 1,185
通信運搬費	1,025	1,582	▲ 557
減価償却費	320	776	▲ 456
消耗什器備品費	150	100	50
消耗品費	1,084	2,661	▲ 1,577
材料費	95	62	33
修理費	0	2,000	▲ 2,000
修繕費	50	4,250	▲ 4,200
車両費	185	205	▲ 20
印刷製本費	397	603	▲ 206
光熱水料費	2,223	2,716	▲ 493
リース料	148	64	84

使用料賃借料	3,273	8,715	▲ 5,442
災害保険料	226	356	▲ 130
報償費	1,424	2,466	▲ 1,042
租税公課	988	3,360	▲ 2,372
奨学金	1,360	1,600	▲ 240
食糧費	110	360	▲ 250
支払負担金	250	1,250	▲ 1,000
図書費	80	642	▲ 562
委託費	1,071	4,500	▲ 3,429
雑費	471	1,104	▲ 633
管理費	[2,733]	[3,586]	[▲ 853]
役員報酬	442	442	0
給与手当	187	778	▲ 591
福利厚生費	98	242	▲ 144
会議費	60	60	0
旅費交通費	10	0	10
通信運搬費	10	10	0
減価償却費	318	0	318
消耗品費	3	2	1
印刷製本費	3	18	▲ 15
光熱水料	117	314	▲ 197
リース料	16	96	▲ 80
使用料賃借料	168	442	▲ 274
租税公課	30	0	30
交際費	70	50	20
支払負担金	100	100	0
委託費	935	1,032	▲ 97
雑費	166	0	166
経常費用計	68,317	110,266	▲ 41,949
当期経常増減額	▲ 7,315	▲ 4,344	▲ 2,971
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	▲ 7,315	▲ 4,344	▲ 2,971
一般正味財産期首残高	272,247	276,591	▲ 4,344
一般正味財産期末残高	264,932	272,247	▲ 7,315
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,000	100,000	0
指定正味財産期末残高	100,000	100,000	0
III 正味財産期末残高	364,932	372,247	▲ 7,315

※前年度の一般正味財産期首残高は、前々年度の決算額で調整した金額である。

VI 役員名簿等

1 役員名簿

平成 26 年 7 月 1 日現在

役職名	氏名	備考
理事長	高城 壽雄	(公財) 北九州国際交流協会理事長
専務理事	高原 義弘	(公財) 北九州国際交流協会専務理事
理事	池本 綾女	副都心黒崎開発推進会議副幹事長
〃	勝田 幸秀	独立行政法人国際協力機構九州国際センター所長
〃	廣澤 洋子	北九州国際交流団体ネットワーク会長
監事	小石 佐織	北九州市総務企画局国際部長
〃	西妻 安治	(株)福岡銀行取締役常務執行役員北九州本部長

2 市との特命随意契約の状況（平成 25 年度実績）

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の業務内容	委託金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の場合その理由
多文化共生拠点強化業務	4,568	日本語教育及び教室運営に関して実績と能力があり、かつ地域日本語教室をつなぐ存在としての経験も豊富であり他に同様の業務を担える団体がないため。	再委託なし				
コミュニティ通訳等派遣業務	1,400	通訳ボランティアの活用についてのノウハウ・ネットワークを有し、通訳ボランティアを抱えている団体であるため。	再委託なし				
平成 25 年度中国残留邦人等日本語教室及び交流事業業務	2,367	中国残留邦人等に対する日本語教室等の実施経験を有し、八幡地区に居住する多くの中国残留邦人等の継続的な通学が見込める西部地区での教室開催が唯一可能な団体であるため。	再委託なし				
多文化共生の担い手づくり事業	985	ひとみらいプレイスの連携事業のため入居団体であることでより連携がとれ、かつ多文化共生を目的としたものであり、その専門性を持つ団体であるため。	再委託なし				
合 計	9,320		合 計	0			